

進捗報告書（実行団体）

事業名:	若者×ICTによる地域活性化プロジェクト
資金分配団体:	一般財団法人リープ共創基金
実行団体名:	一般社団法人サステイナブル・サポート
実施時期:	2020年10月～2021年9月
事業対象地域:	岐阜県、愛知県
事業対象者:	困窮状態にある、一般の就職が困難な若者

Version 1.2

日付: 2021年08月05日

I. 事業概要

事業概要
新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した若者で、基本的には障害福祉サービス等既存の制度事業の利用が困難な者。一部、就労経験がなく職に就くことが困難で、困窮状態の若者や学生も含む。岐阜県・愛知県に在住し、基本的には地域で働くことを希望する若者を対象に、職業訓練、受け入れ企業での就労実践を実施する。

II. 進捗報告の概要

総括
ほぼ計画通り進んでいる。1期は途中リタイヤや予定していた出勤日に欠勤する者もいた。2期はスタート時点で2名リタイヤしたが、参加者の補充をしたうえで、ほぼ欠席なく進められている。 対象層はほぼ想定通りで、これまで適切な支援を受けられていない支援ニーズの高い若者が集まっている。飲食等のサービス業において単発の仕事についており、コロナ禍で職を得ることが難しくなった人が多く見受けられる。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
①支援対象者に対しICT技能習得訓練を提供 ②支援対象者に対し就労スキル習得訓練を提供 ③報酬を支給 ④支援対象者が地域の飲食店やNPOにおいてICTを活用した広報サポートを行う ⑤支援対象者が小中学校で消毒ボランティアを行う ⑥支援対象者が職を得ることができる	①予定通り実施 ②予定通り実施 ③予定通り実施 ④飲食店が閉まってしまいNPO内で飲食をやっている団体の広報発信業務の手伝いを実施している。 ⑤予定通り実施 ⑥1期は2名就職。2期は就労意欲が低く1名就職。団体内の別の就労支援につないでいる。

活動	進捗状況	概要
支援プログラムの実施	ほぼ計画通り	困難さが高い若者に対し、支援が行える関係性をつくることができている。プログラム終了に向けた次のステップを検討するところが課題になっている。サポートのある就労が適しているケースもあり、当団体が行う就労移行支援の広報業務を通してサポート付きの就労への理解を持てるよう工夫をしている。キャリアインサイトなどで自己理解を深めることも検討中。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
地域へのコロナ禍の影響は当初の想定よりも長引いている。車での移動、中小企業が多い地域でなかなかテレワークが進んでいないが、ICTの活用した会議のオンライン化、SNSを使ったwebマーケティングは広がりつつある印象を持っている。ただ、まだ地域に業務として経験している人は少ないため、若者が本事業を通して得た経験は今後有効だと考えている。消毒活動に協力した学校からお礼の言葉を聞くことも若者にとって自己有用感を高め、仕事を選ぶ際の選択肢も広がっている。

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥4,834,180	¥5,250,920	¥10,085,100	¥4,077,135	40%
	管理的経費	¥1,112,000	¥1,112,000	¥2,224,000	¥439,998	20%
合計		¥5,946,180	¥6,362,920	¥12,309,100	¥4,517,133	37%
補足説明						

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>コロナ禍の影響でもともと予定していた飲食店での業務が成立しなくなった。地域ネットワークを活用し、代わりに地域のNPOで飲食を行う活動を行っているところの発信をサポートを業務に切り替えた。</p>

VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)	有	「FMわっち not alone わおん」にて紹介されて、スタッフと就労支援対象者が参加した。
広報制作物等	無	
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	